



7. 国際社会で英語で日本文化を発信することができるよう、ジャパニーズカルチャースペースでは茶道プログラムを設定
8. 空港をイメージしたエントランスホール



4,5. アトラクション・エリアでの体験の様子。同じアトラクションでも内容の異なる課題に取り組むことが可能
6. アクティビティ・エリアのメディアラボA。カメラや映像・音声機器を備えたスタジオで、ニュース番組の制作体験ができる

施設概要

所在地	東京都江東区青海2-4-32 TIME24ビル1~3階
オープン	2018年9月6日
事業主体	株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAY ^{※1}
施設面積	約7,000㎡
施設内容	アトラクション・エリア（エアポートゾーン、ホテルゾーン、トラベルゾーン、キャンパスゾーン/定員各72人）、アクティビティ・エリア（クラフトラボ、サイエンスラボ、クッキングスタジオ、ジャパニーズカルチャースペースなど/定員24~56人）、テラス、エントランスホール、グローバルステージなど
利用料金 ^{※2}	学校利用/1日コース（7時間）都内4,800円、都外6,800円、半日コース（3-5時間）都内2,400円、都外3,500円【ランチ500円〜。軽食・弁当持込み可。半日コースでは別途1,400円でランチプログラムも用意】

※1 17年2月13日に設立。株式会社ホールディングス、株式会社ホールディングス、株式会社エデュレエルシーエー、（一社）英語教育協議会（ELEC）、株式会社5社のコンソーシアム。東京都の「英語村（仮称）」事業で最優秀事業応募者として選定された

※2 すべて税別

グ、茶道、ニュース番組制作・編集など全17プログラムから英語で学ぶ。なかには企業や団体と連携して開発した「企業を分析して投資先を考える」、「地球の未来と森の役割を考える」など、英会話だけではなく、実社会を垣間みるプログラムも設定されており、今後とも随時追加されていく計画だ。

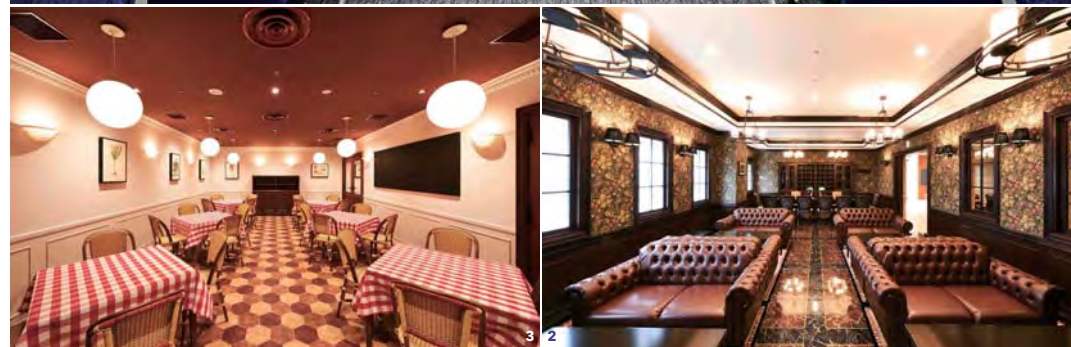
アトラクション・エリアは3段階、アクティビティ・エリアは5段階の難易度が用意されている。ヨーロッパで外国語の学習者の習得状況を示す際に用いられるガイドライン「ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）」をベースに日本の英語教育利用を目的に再構築した「CEFR-J」をもとに設定された。

主なターゲットとなる学校利用では、1日コースと半日コースの2種類を用意。都内の国公私立小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などの児童・生徒約12.3万人を優先対象に、授業や学校行事活用を予定するが、他道府県からの修学旅行生を対象に複数日程の連続性をもつプログラムの提供も可能だ。

すでに17年9月から18年度の予約受付を開始しており、18年6月28日時点の受付状況は都内外から約370校、約4万7000人へのぼる。

そのほか個人利用も可能で、今年度は学校利用と同様のプログラムやプログラミングなどの講座を土・日祝日に設定している。今年度の運用を経て、来春をめどに個人利用の受入れをさらに本格化させる予定だ。

また将来的には、子どもから大人まで英語を学びたい人すべてをターゲットに、平日の夜間や土・日祝日、長期休暇期間など、レベルやニーズにあわせたプログラムやイベントを検討していくという。



1,2,3. アトラクション・エリアには海外旅行や留学を想定し、トラベルゾーン、ホテルゾーン、エアポートゾーン、キャンパスゾーンが設定されている

TREND EYES

TOKYO GLOBAL GATEWAY

5社コンソーシアムによる
体験型英語学習施設
児童・生徒の英語学習の意欲向上へ

（株）TOKYO GLOBAL GATEWAY^{※1} 東京都江東区に6月6日、体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」を「TIME 24ビル」（東部：東京ビッグサイト）の1~3階にオープンした。日々の英語学習にとまらず、英語を実際に話す体験をすることで、楽しさや必要性を体感するための役割を担う同施設は、主に2つのエリアから構成される。

「アトラクション・エリア」（4ゾーン、各3アトラクション）は海外旅行や留学を想定した場面設定がなされた、疑似海外を体験できるエリアだ。その場で渡されるミッションカードに書かれた「指定された商品を購入する」、「レストランを予約する」、「症状を伝えて風邪薬をもらう」といった課題に挑戦していく。

一方で、「アクティビティ・エリア」では、ダンスやプログラミング



2,3,4. それぞれの特色をもったスタジオ



5,6. トレンドをいち早く取り入れた多彩なプログラムが展開される



7. エントランス部にはフィットネスクローゼットでレンタルできる、大人気のアスレジャーファッションが並ぶ

施設概要

所在地	東京都千代田区有楽町1・2・2 日比谷シャンテ別館地下1、2階
オープン	2018年9月15日
事業主体	野村不動産ライフ&スポーツ株
施設面積	約994㎡
施設内容	マシンエリア、スタジオ3か所（定員：アクティブスタジオ20～28人、ホットスタジオ18～22人、アンティスタジオ9人）、シャワーブース（男性6（スバ内に設置）、女性11）、更衣室（ロッカー数：男性72、女性138）
利用料金 （月額、税別）	●フルタイム：1万1,800円 - スタジオ&ジムエリアを全営業時間利用可 ●マンスリー：4：9,800円 - スタジオ&ジムエリアを全営業時間利用可4回／月、ジムエリアフリー利用可 ●デイトタイム：9,000円 - 平日7～17時利用可 ●プラチナ会員：1万5,800円 - メガロス金店舗利用可 ■フルレンタルプラス：3,000円 - フィットネスクローゼット利用オプション。プラチナ会員は利用料金に含まれている

※一部店舗対象外または有料、フルレンタルと水素水オプションを含む

同社は、メガロス日比谷シャンテの出店に際し、日比谷が多様性のある文化都市であること、また未来志向で変化を続ける、エンターテインメントや芸術に富んだ街である点に着目。その日の気分に合わせて楽しめるファッション性に富んだ新たなフィットネスの価値を発信する拠点となる店舗を目指すという。



1. フロアコンセプトには「DRAMATIC FITNESS」を掲げる

TREND EYES

メガロス日比谷シャンテ

多様性のある文化都市・日比谷にシアターのようなフィットネス施設がオープン

野村不動産ライフ&スポーツ株は、9月15日、東京都千代田区の商業施設「日比谷シャンテ」地下1、2階に「メガロス日比谷シャンテ」をオープンした。有酸素マシン、ベンチ、ウェイトマシンなど38台を揃えるマシンエリアは2フロア吹抜けで照明にはシャンデリアを採用。地下空間であることを忘れるほどの天井高を確保した。「アクティブスタジオ」「ホットスタジオ」「アンティスタジオ」の3か所からなるスタジオで週100本とエリア最大級のプログラム数を揃えたことが特徴。

暗闇エクササイズでは、トランポリンを利用する「VOLTRUMP」や「エムスティック」を使った「VOLTRUMP」など、フィットネスクラブには少ない荷物で行きたい「おしゃれなウェアでトレーニングをしたい」といった利用者の声に応え、emmi、SPOLIT、GANSOなどの人気のウェアをレンタルできるサービス「フィットネススクローゼット」も開始。より気軽に運動できる環境を利用者に提供する。

主要ターゲットには、周辺商圏のオフィスワーカーを想定。仕事前後でも気軽に利用ができるよう、シャワーブースを設けるほか、男性は風呂、サウナ、水風呂からなるスバ、女性更衣室には基礎化粧品を完備したパウダールームを設ける。

また、フィットネスラウンジには、周辺商圏のオフィスワーカーを想定。仕事前後でも気軽に利用ができるよう、シャワーブースを設けるほか、男性は風呂、サウナ、水風呂からなるスバ、女性更衣室には基礎化粧品を完備したパウダールームを設ける。